NIE実践報告

１．タイトル：環境問題や科学技術の先端研究、応用を学ぶ

２．学校名

和歌山県立神島高等学校

３．実践者名（代表者名）

堤　孝俊

４．学年

第３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

理科　学校設定科目「自然環境学」１７名

６．単元（本時の学習課題）名

環境問題や科学技術の先端研究、応用を学ぶ

７．目標(狙い)

地球温暖化や生物多様性等の環境問題や、科学技術の先端研究を新聞を通して学び、理解を深めるとともに、プレゼンテーションやスクラップ新聞によって、その内容を他者へわかりやすく表現する。

８．評価の視点

学習内容を理解できたか。自分の意見を深めることができたか。伝えたい内容を編集し、的確に表現できたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

環境問題を学ぶ
科学技術の先端研究を学ぶ

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①時事問題学習（8時間）　教師が新聞記事等を利用して作成した教材プリントを読み、ワークシートに取り組み、意見を発表する。ワークシートの質問事項には、記事から読みとれる基本的内容だけでなく、各自の意見を考えさせる発展的内容も入れておく。今回作成した教材は、「はやぶさ帰還」「サッカーの科学カーブＦＫのしくみ」「口蹄疫」「遺伝子組み換えサケ」「３Ｄテレビ」「ＣＯＰ１０」「地球温暖化」など
②スクラッププレゼン（6時間）　生徒が新聞聞記事を選び、スクラップする。ワークシートに記事の内容（メインメッセージ・補足情報・影響や意義）を要約し、コメントを記入する。最後に３０秒、もしくは１分間でプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションは、時間内に効率よく発表できるように指導する。
③スクラップ新聞（16時間）　生徒が各自でテーマを設定し、模造紙にスクラップ新聞を作成。新聞には、スクラップした記事を３つ以上貼り付けることにする。新聞コンテストを行い、生徒投票により優秀作品を決定する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒は、始業のチャイムが鳴る前から新聞を広げ、楽しそうに新聞を読むようになった。新聞から得たタイムリーな事柄を授業で扱うので、生徒は授業内容をリアリティーを持って受け止めることができた。現実社会と授業で扱う内容がつながっているので、それが生きた知識となり、学習効果を高められると感じた。

12．成果と課題

教師が作成したワークシートを通して、環境問題や科学技術の先端研究を学ぶことができた。また、生徒自身がプレゼンしたり、スクラップ新聞を作成することで、時事問題を生徒同士で学びあうことができた。
今後の課題は、スクラップ新聞の展開やまとめをよりおもしろく、深いものになるように生徒に考えさせること。そのためには、作業中の生徒一人ひとりと、もっと対話を多くもち、考えるきっかけをたくさん作ることが必要だと考えている。